

取扱説明書

特定小電力トランシーバー

Wedge Talkie

この取扱説明書は、別売品のことも記載
していますので、お読みになったあとも
大切に保管してください。



WED-NO-001

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた特定小電力トランシーバーです。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管してください。

取扱説明書の構成について

本製品の取扱説明書は、本製品に付属の「Wedge Talkie 使ってみましょう」(別紙)、弊社ホームページに掲載の「取扱説明書」(PDFファイル)で構成されています。

Wedge Talkie 使ってみましょう(別紙)

はじめて本製品をお使いになる前に、知っておいていただきたい安全上のご注意や本製品の基本的な操作方法などについて記載しています。

取扱説明書(本書)

各種機能の詳細や使用方法について記載しています。

付属品について

◎ベルトクリップ..... 1

◎Wedge Talkie 使ってみましょう

◎保証書

※電池は付属していませんので、お客様で市販の単3形アルカリ乾電池、または別売品のBP-260(充電式電池)をご用意ください。

本製品の概要について

- ◎ IP54(防塵形と防まつ形)★¹の性能に対応できるよう設計されたプレストーク方式の特定小電力トランシーバーです。
- ◎ 単信、および半複信の通信方式★²に対応しています。
- ◎ 単信は20チャンネル、半複信は27チャンネルに対応しています。
- ◎ 別売品の中継装置(IC-RP4100)を使用することで、電波が直接届かない場所でも交信できます。
中継装置については、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ◎ 本製品は、免許不要・資格不要です。

★1 「IP表記について」(P.v)をご覧ください。

- ★2 単信 : 無線機同士が直接通話する方式です。
送信と受信を交互に切り替えて通話します。
- 半複信 : 別売品の中継装置を経由して通話する方式です。
単信と同じように、送信と受信を交互に切り替えて通話します。

登録商標/著作権について

Wedge Talkielは、ウェッジ株式会社の登録商標です。
本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。
仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。
本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

はじめに

防塵/防水性能について

電池カバー、[マイク/イヤホン]ジャックの保護カバーを正しく取り付けられた状態で、IP54の防塵/防水性能があります。

次のような使いかたをすると、防塵/防水性能を維持できませんので、ご注意ください。

- ◎ 雨の中や、水滴が付着、またはぬれた手で電池カバー、[マイク/イヤホン]ジャックの保護カバーを取り付けたり、はずしたりしたとき
- ◎ 海水や砂、泥、洗浄液(洗剤)等が無線機に付着したまま放置したとき
- ◎ 落下等外的衝撃により、樹脂変形、ひずみ、ひび割れ等が発生した場合や薬品の付着により筐体、ゴムパッキンに劣化が生じたとき
- ◎ 高い水圧をかけたとき
- ◎ 蛇口からの水や湯を直接当てたとき
- ◎ 無線機本体と電池端子間の腐食による故障、または損傷があるとき
- ◎ -10°C ~ $+50^{\circ}\text{C}$ 以外の環境で使用したとき
- ◎ 薬品等の蒸気が発散しているところや薬品に触れるところに放置したとき
- ◎ 本製品を分解または改造したとき
- ◎ 無線機本体と電池カバー、[マイク/イヤホン]ジャックの保護カバーのすきまに微細なゴミ(糸くず、毛髪、砂など)が挟まっているとき

取り扱い上のご注意

- ◎アンテナを持って、製品を持ち運んだり、振り回したりしないでください。
- ◎本製品を極端に寒い場所から持ち運んだ場合は、結露する可能性があります。
結露した場合は、自然乾燥させるか、長いあいだ同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。
- ◎雨の中や、水滴が付着、またはぬれた手で、電池、電池カバー、[マイク/イヤホン]ジャックの保護カバーを付けたり、はずしたりしないでください。
- ◎水や湯を水道の蛇口から直接当てないでください。
- ◎無線機本体や充電器の各端子(充電端子、および電源ジャック)にゴミやホコリが付着すると、正常に使用できないことがありますので、定期的にお手入れしてください。
- ◎磁気カードを無線機に近づけないでください。
磁気カードの内容が消去されることがあります。
- ◎本製品の故障、誤動作、不具合、停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電波法上のご注意

- ◎他局の通信を妨害することや、通話の内容をほかにもらし、これを窃用することは、かたく禁じられています。
- ◎使用できるのは、日本国内に限られています。

はじめに

IP表記について

機器内への異物の侵入に対する保護性能を表すための表記です。IPにつづけて保護等級を示す数字で記載され、1つ目の数字が防塵等級、2つ目が防水等級を意味します。

また、保護等級を定めない場合は、その等級の表記に該当する数字部分を「X」で表記します。

【本書で記載する保護の程度について】

- IP5X(防塵形) : 試験用粉塵を1m³あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、無線機として機能すること
- IPX4(防まつ形) : いかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響がないこと

自動車運転時のご注意

- ◎安全運転のため、運転中に無線機を操作したり、無線機の表示部を注視(表示部を見つづける行為)したりしないでください。
- ◎無線機を操作、または表示部を注視する場合は、必ず安全な場所に自動車を停車させてください。
- ◎安全運転に必要な外部の音が聞こえない状態で自動車を運転しないでください。
一部の都道府県では、運転中にイヤホンやヘッドホンなどを使用することが規制されています。
- ◎安全運転のため、無線機を身体に付けた状態で自動車を運転しないでください。

はじめに	i
取扱説明書の構成について	i
付属品について	i
本製品の概要について	ii
登録商標 / 著作権について	ii
防塵 / 防水性能について	iii
取り扱い上のご注意	iv
電波法上のご注意	iv
IP 表記について	v
自動車運転時のご注意	v

1 各部の名称と機能 1

■ 前面部/側面部	1
■ 表示部	2

2 通話のしかた 3

1 電源を入れる	3
2 音量を調整する	3
3 通話チャンネルをあわせる	3
4 呼び出しをする(送信する)	4
5 呼び出しを受ける(受信する)	5
■ 通話のアドバイス	5
■ グループ通話のしかた	7

3 その他の便利な機能 8

■ トーンバースト機能	8
■ VOX機能	8
■ ロック機能	8
■ ビジースキャン機能	9
■ 空きチャンネルサーチ機能	10

もくじ

4 設定モードについて————— 11

- 設定モード/詳細設定モードの操作…………… 11
- 設定項目一覧…………… 12
- 設定項目について…………… 13

5 別売品とその使いかた————— 21

- 別売品についてのご注意…………… 21
- 別売品一覧表…………… 21
- 別売品を接続するには…………… 22
- WED-EPM-SLE (オリジナルイヤホンマイク) …… 23
- WED-EPM-SLO (オリジナルイヤホンマイク) …… 23
- HS-85 (VOX機能付きヘッドセット)…………… 23
- HM-186L (小型スピーカーマイクロホン) …… 24
- HS-94 (イヤーフック型ヘッドセット) …… 24
- HS-95 (ネックアーム型ヘッドセット) …… 24
- HS-97 (咽喉マイクロホン) …… 25
- HS-99 (耳かけ式イヤホンマイク) …… 25
- 中継装置について…………… 26
- 充電器をご使用になる前に…………… 27
- 充電のしかた…………… 29
- 充電式電池の特性と寿命について…………… 30

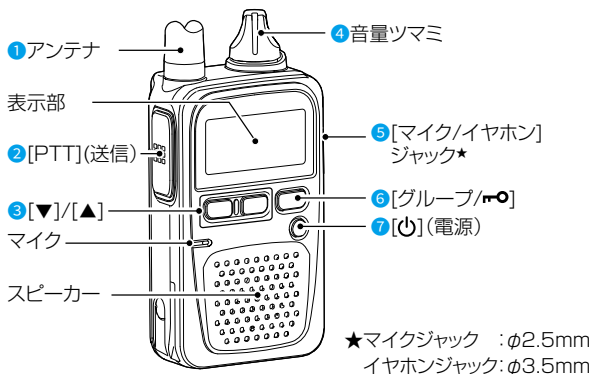
6 ご参考に————— 31

- 初期化(リセット)操作について…………… 31
- 日常の保守と点検について…………… 32
- 故障かな?と思ったら…………… 33
- アフターサービスについて…………… 34
- 従来製品との相互使用について…………… 35

7 定格	36
■ 無線機本体	36
■ 2口充電器(BC-234)	36

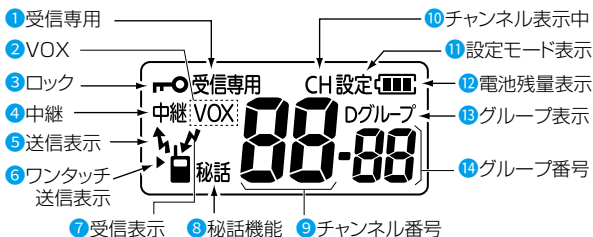
1 各部の名称と機能

■ 前面部/側面部



1	電波を送信/受信する部分です。
2	押しているあいだは送信状態、はなすと待ち受け状態に切り替わります。
3	通話チャンネル/グループ番号を切り替えます。
4	音量を調整するツマミです。 右に回すと、音が大きくなります。
5	別売品のイヤホンマイクロホン、ヘッドセットなどを接続する端子です。 接続しないときは、ホコリや水の浸入を防ぐため、保護カバーでフタをしてください。
6	通話(交信)画面と、グループ番号設定画面を切り替えるキーです。 1秒以上押すと、キーロック機能が動作します。
7	長く押すごとに電源を入/切します。

■ 表示部



※説明のための表示例です。
実際の画面とは異なります。

1	受信専用機能設定時に表示
2	VOX機能設定時に表示
3	ロック中に表示
4	中継装置を使用して、通話チャンネル選択時に表示
5	送信中に点灯
6	ワンタッチ送信機能設定時に表示
7	受信中に点灯
8	秘話機能設定時に表示
9	通話チャンネルを表示
10	通話チャンネルが設定できるときに表示
11	グループ設定、設定モード、詳細設定モードが設定できるときに表示
12	電池の残量を 4 段階で表示
13	グループ通話時、グループ設定時に表示
14	グループ番号を表示

2 通話のしかた

1 電源を入れる

[**⏻**] (電源) を長く (約 1 秒) 押すと、電源が入り、待ち受け状態になります。

※同じ操作をすると、電源が切れます。



2 音量を調整する

音量ツマミを時計方向に回すと、音量が大きくなります。



3 通話チャンネルをあわせる

[**▼**]/[**▲**] を押して、相手と同じ通話チャンネルにあわせます。

※押すごとに、

01～20→中継01～中継27→
01の順に切り替わります。

※押しつづけると連続で切り替わります。

選択範囲

単信 : 01～20

半複信 : 中継01～中継27

※中継チャンネル (半複信) で通話するときは、中継装置 (別売品) が必要です。



通話チャンネル(例: 01)



通話チャンネル(例: 中継01)

4 呼び出しをする(送信する)

[PTT]を押しながら、マイクに向かって呼びかけます。

呼びかけたらすぐに[PTT]をはなします。

※手に持って運用するときは、マイクを指でふさがないようにご注意ください。



【通話チャンネルが単信の場合】

[PTT]を押すと、送信中は表示部の送信表示「」が点灯します。

【通話チャンネルが半複信の場合】

[PTT]を押すと、表示部の送信表示「」が一瞬点灯し、次に中継装置と接続されて(表示部の受信表示「」が1回点灯)、相手局を呼び出します。



送信中

マイクに向かって話すときは、口元から5cmほどはなし、普通の大きさの声で通話してください。

マイクを近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、通信の音質が悪くなることがありますのでご注意ください。

2 通話のしかた

5 呼び出しを受ける(受信する)

[PTT]をはなした状態にして、相手局の電波を受信すると、表示部の受信表示「」が点灯して、相手の音声聞こえてきます。

※双方が同時に送信すると、通話できません。

※送信の終わりに『どうぞ』を付け加えると、会話がスムーズに運びます。



受信中

■ 通話のアドバイス

1. 送信時間制限について

1回の送信で連続して通話できる時間は、「3分以内」と電波法で定められています。

制限時間の10秒前になると、「ピーッ」と鳴ります。

連続通話時間が3分になると、「プッ」と鳴って、自動的に送信を停止します。

停止してから2秒間は送信することができません。

通話を再開する場合は、2秒後に[PTT]を押してください。

2. 相手局から応答がないときは

相手の無線機が電波を受信できない場所に移動したなどの理由で応答がないときは、再度[PTT]を押すと、呼び出しできます。

3. 通話できる範囲について

周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)により、受信しにくくなることがあります。

◎ 通話範囲は、周囲の建物などの状況により異なりますので、下記の数値を目安に通話してください。

見通しのよい場所	: 約2km
郊外	: 約1～2km
高速道路	: 約500m
市街地	: 約100～200m

◎ 通話範囲であっても、山や建物などが障害物となっており、通話しにくくなることがあります。そのときは、場所を少し移動して通話してください。

また、テレビやラジオなどの家電製品、パソコン、および電話機などの近くで使用すると、雑音が発生したり、誤動作したりすることがありますので、はなれてご使用ください。

4. 混信防止機能(キャリアセンス)について

無線局の運用では、同じ通話チャンネルで自分が送信中のときにほかの人が送信すると、混信を受け通話ができない場合があります。また、ほかの人が通話中のチャンネルで送信すると、その通話を妨害することになります。

このような混信を防止するために、同じチャンネルで一定レベルの電波を本製品が受信している場合は、通話中とみなし、送信できないよう自動的に制御する機能をキャリアセンスといいます。キャリアセンスは、本製品が送信を開始するときに動作します。3秒以上通話が途切れた場合、本製品が通話を終了したと判断し、次の送信開始時からキャリアセンスの機能が動作します。

なお、ほかの電子機器からの電波を受信した場合(混信や妨害波を含む)についてもキャリアセンスが動作し送信できないことがありますが、故障ではありません。

本製品は、電波法によりこのキャリアセンスの搭載が義務付けられています。

2 通話のしかた

■ グループ通話のしかた

グループ通話は、通話チャンネルとグループ番号の2つが一致した無線機とだけ通話できる機能です。特定のグループと通話するのに便利です。

1. [▼]/[▲]を押して、相手と同じ通話チャンネルにあわせる
2. [グループ/PTT]を短く押して、グループ番号設定モードに切り替える
 - 「設定」が表示され、「グループ」が点滅します。
3. [▼]/[▲]を押して、グループ番号を選択する
 - ※押しつづけると連続で切り替わります。
 - ※操作しない状態が5秒以上つづくと、グループ番号設定モードを解除します。
 - 選択範囲
グループ : 01～38
Dグループ★ : 01～83
OFF : — (ハイフン)
 - ★中継チャンネル設定時は、選択できません。
4. [グループ/PTT]を押して、グループ番号設定モードを解除する
5. [PTT]を押して通話する



グループ番号設定モード



グループ選択時



Dグループ選択時

ご参考

設定モードの「ポケットビープ」(P.19)で、ビープ音を設定すると、グループ通話で呼び出しを受けたときに、ポケットビープ(受信時の呼び出し音)が鳴ります。

■ トーンバースト機能

こちらが[PTT]をはなした直後、通話相手のスピーカーから一瞬出る、「ザッ」というノイズ(雑音)を抑える機能です。(P.20)

※送信する側が設定しないと受信側に反映しません。

※グループ01～38設定時だけON/OFFの設定が有効になります。

※Dグループ01～83設定時は、常にトーンバースト機能が有効です。

■ VOX機能

[PTT]を押さなくても、マイクロホンからの音声によって送受信を自動的に切り替える機能です。(P.17)

また、別売品を接続してVOX機能を使用する場合は、設定モードの「VOX機能」を「oF」に設定してください。

- HS-85 : VOX機能付きヘッドセット
- VS-2L : VOXユニット(VOX機能切り替え装置)

※VS-2Lを使用するときは、別売品のHS-94、HS-95、HS-97、HS-99のいずれかが必要です。

■ ロック機能

[グループ/📶]を長く(約1秒)押すと、「ピッピピッ」と鳴って、[📶]が点灯します。

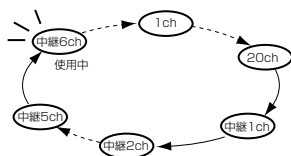
※同じ操作をすると、ロック解除できます。

※[PTT]、音量ツマミ、[🔌](電源)は、ロック中でも使用できます。

3 その他の便利な機能

■ ビジースキャン機能

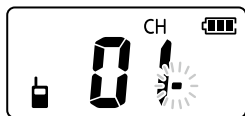
使用中のチャンネルを探す機能です。(設定：P.16)



- [▲]を押しながら[▼]を押すとアップスキャンが開始します。
- [▼]を押しながら[▲]を押すとダウンスキャンが開始します。
- [▼]と[▲]を同時に押すごとに、スキャンを停止/再開します。



- ※スキャン中は「-」が点滅します。
- ※[グループ/PTT]、または[PTT]を押すと、スキャンを停止します。
- ※電源を入れなおしても、スキャンは有効です。
- ※スキャン再スタートの条件は設定モードで設定します。(P.16)

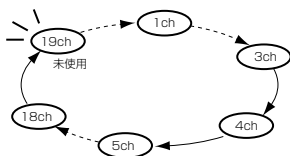


ビジースキャン中の表示

■ 空きチャンネルサーチ機能

空いているチャンネルを探す機能です。(設定：P.16)

※グループ通話設定時で、「チャンネル設定」(P.19)が「20」に設定されている場合だけ使用できます。



- [▲]を押しながら[▼]を押すとアップスキャンが開始します。
- [▼]を押しながら[▲]を押すとダウンスキャンが開始します。
- [▼]と[▲]を同時に押すごとに、スキャンを停止/再開します。

※スキャン中は「-」が点滅します。

※[グループ/🔑]を押すと、スキャンを停止します。

※電源を入れなおしても、スキャンは有効です。



空きチャンネルサーチ中の表示

4 設定モードについて

各種機能を「設定モード」と「詳細設定モード」で設定できます。

■ 設定モード/詳細設定モードの操作

1. 設定モードに入る

【設定モードの入りかた】

電源を切った状態で、[▲]を押しながら電源を入れる

- 「ピピピッ」と鳴り、「SEt1」が一瞬表示されたあと、設定モードに入り、「設定」が表示されます。



設定モード

【詳細設定モードの入りかた】

電源を切った状態で、[▼]と[▲]を押しながら電源を入れる

- 「ピピピッ」と鳴り、「SEt2」が一瞬表示されたあと、詳細設定モードに入り、「設定」が表示されます。



詳細設定モード

2. [▼]/[▲]を押して、設定項目を選択する

3. [グループ/]を押して、設定内容を選択する

- 押すごとに設定内容が切り替わります。

4. [PTT]を押す

- 設定内容が確定し、設定モードが解除されます。

※電源を入れなおしても、設定内容が反映されます。

■ 設定項目一覧

下記の表は、詳細設定モード時に設定できる項目です。

□ は、設定モードでも設定できる項目です。

参照頁	設定項目	表示	選択肢	初期値
P.13	ワンタッチPTT機能	Pt	oF、on	oF
P.13	コンパンダ機能	Co	oF、on	oF
P.14	秘話機能	SE	oF、on	oF
P.14	受信専用機能	ro	oF、on	oF
P.14	スケルチレベル	Sq	1～5	2
P.15	モニター機能		oF、on	oF
P.15	マイク感度レベル	LE	1～5	3
P.16	スキャン機能	Sh	oF、bu、Et	oF
P.16	スキャン再スタート★ ¹	St	t5、P5、P0	t5
P.17	VOX機能	oc	oF、on	oF
P.17	VOX感度★ ²	oL	1～5	3
P.18	VOXディレイタイム★ ³	dE	1～5	3
P.18	断線検出機能	CA	oF、on	oF
P.18	電池種類	ty	nl、AL	nl
P.19	チャンネル設定	Ch	20、27、47	47
P.19	ポケットビープ	Pb	oF、b1、b2、b3、b4	oF
P.19	操作時のビープ音	bP	oF、on	on
P.20	パワーセーブ機能	PS	oF、on	on
P.20	トーンバースト機能	tb	oF、on	on
P.20	バックライト	bL	oF、At	At

★¹：スキャン機能を「bu」、または「Et」に設定すると表示されます

★²：VOX機能を「on」に設定すると表示されます

★³：詳細設定モードでVOX機能を「on」に設定すると表示されます

4 設定モードについて

■ 設定項目について

ワンタッチPTT機能

(初期設定：oF)

[PTT]を押すごとに、送信と受信を切り替える機能で、送信するときに、[PTT]を押しつづける必要がありません。

送信中は、「▶」が点滅します。

- oF：使用しない
- on：使用する(「▶」が点灯)



点灯

コンパンダ機能

(初期設定：oF)

音声通話のめいりょう度を上げる機能です。

設定して電源を入れると、表示部に「Co on」を約1秒表示してから、通常のチャンネルを表示します。

※通話するすべての無線機で同じ設定にしてください。

- oF：使用しない
- on：使用する



■ 設定項目について

秘話機能

(初期設定：oF)

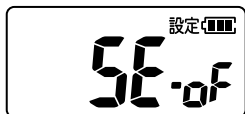
秘話機能を設定しない相手には、通話内容が聞き取りづらくなるため、他局に通話内容を傍受されるのを防止できます。なお、グループ通話(P.7)と併用できます。

- oF：使用しない
- on：使用する(「秘話」が点灯)

※通話するすべての無線機で同じ設定にしてください。

※機密を要する重要な通話にご使用になることは、おすすめできません。

また、無線機どうしの通話は、電波を使用している関係上、第三者による盗聴を完全に阻止できませんので、ご注意ください。



受信専用機能

(初期設定：oF)

本製品を一時的に送信禁止にする機能です。

- oF：使用しない
- on：使用する(「受信専用」が点灯)



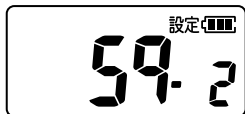
スケルチレベル

(初期設定：2)

受信する相手局の信号レベルの強弱に応じて、スケルチレベルを設定します。

- 選択範囲：1(浅い)～5(深い)

※設定値が小さい(浅い)ときは弱い信号でも受信できますが、設定値が大きい(深い)ときは強い信号だけを受信します。



4 設定モードについて

■ 設定項目について

モニター機能

(初期設定：oF)

電波が弱くなることで、相手の声が途切れるなど聞こえにくいときに、聞こえやすくする機能です。

※通信の状況により効果がない場合があります。

※モニター機能が動作しているときは、待ち受けのときでも受信表示「」が点灯して、「ザー」という雑音が出ます。

※電源を切ると無効になります。

- oF：使用しない
- on：使用する



マイク感度レベル

(初期設定：3)

マイクの感度を設定します。

- 選択範囲：1(低い)～5(高い)

※周囲の雑音が大い場所では、「1」に設定し、大きめの声で通話

することで、通話相手に聞きやすい音声になります。

また、周囲の雑音が小さい場所では、「5」に設定し、小さめの声で通話することで、通話相手に聞きやすい音声になります。



■ 設定項目について

スキャン機能

(初期設定：oF)

スキャン機能は、使用中のチャンネルや、使用していないチャンネルを探す機能です。

※スキャン機能を「oF」以外に設定すると、VOX機能は動作しません。

- oF：使用しない
- bu：使用中のチャンネルを探す(ビジースキャン機能)
- Et：空いているチャンネルを探す(空きチャンネルサーチ機能)

※グループ通話設定時で、「チャンネル設定」(P.19)が「20」に設定されている場合だけ使用できます。



スキャン再スタート

(初期設定：t5)

スキャンが一時停止後、再スタートする条件を設定します。

※「スキャン機能」の設定が「bu」、または「Et」に設定されているときに表示します。

- t5：信号を受信して5秒後に、スキャンを再開する
- P5：信号が途切れてから、5秒後にスキャンを再開する
- P0：信号が途切れてから、すぐにスキャンを再開する



4 設定モードについて

■ 設定項目について

VOX機能

(初期設定：oF)

[PTT]を押さなくても、マイクからの音声によって送受信を自動的に切り替える機能です。

話しをやめると受信に切り替わります。

- oF：使用しない
- on：使用する(「VOX」が点灯)

※VOX機能を設定した場合、無線機本体に衝撃が加わると、送信する場合がありますが、故障ではありません。

※VOX機能使用時は、マイク感度レベルを「3」に設定することをおすすめします。(P.15)

※HS-85/HS-94/HS-95/HS-97/HS-99使用時は、「oF」に設定してご使用ください。



VOX感度

(初期設定：3)

感度を高く設定すると、小さな声で送信しますが、周囲の雑音でも送信しやすくなります。

感度を低く設定すると、周囲の雑音では送信しにくくなりますが、送信するには大きな声で話す必要があります。

- 選択範囲：1(低い)～5(高い)



■ 設定項目について

VOXディレイタイム

(初期設定：3)

VOX機能使用時に、送信状態から受信状態に切り替わるまでの復帰時間を設定します。

- 選択範囲：1(短い)～5(長い)



断線検出機能

(初期設定：oF)

電源投入時に、別売品のイヤホンやスピーカーマイクロホンのスピーカー一部が断線していないかを確認する機能です。

断線と判断された場合は、電源を入れたときに、「SPEr」を約1秒表示してから、通常のチャンネルを表示します。

- oF：使用しない
- on：使用する



断線検出表示

電池種類

(初期設定：nl)

電池の種類(アルカリ乾電池、別売品のBP-260)を設定します。

- nl：BP-260(充電式電池)で使用する
- AL：アルカリ乾電池で使用する



4 設定モードについて

■ 設定項目について

チャンネル設定

(初期設定：47)

使用するチャンネルの総数を設定します。

- 20：単信20chだけを使用する
- 27：半複信27chだけを使用する
- 47：単信20chと半複信27chの合計47chを使用する



ポケットビープ

(初期設定：oF)

グループ番号(連続トーン)の呼び出しを受けたときの受信音のパターンを選択する項目です。

- oF：ビープ音を鳴らさない
- b1：30回鳴る
- b2：3回鳴る
- b3：3回連続で鳴ったあと、1分ごとに1回鳴る
- b4：3回連続で鳴ったあと、2秒ごとに1回鳴る



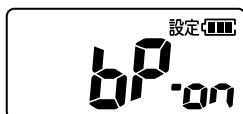
操作時のビープ音

(初期設定：on)

キーを押したときに操作音(ビープ音)を鳴らすか、鳴らさないかを設定します。

※操作したとき以外の警告音やベル音は、この設定に関係ありません。

- oF：鳴らない
- on：鳴る



■ 設定項目について

パワーセーブ機能

(初期設定：on)

何も操作しない(待ち受け)状態が5秒経過すると、自動的に本製品の動作を休止状態にし、電池の電流消費を抑える機能を設定します。



- oF：使用しない
- on：使用する

トーンバースト機能

(初期設定：on)

こちらが[PTT]をはなした直後、通話相手のスピーカーから一瞬出る、「ザッ」というノイズ(雑音)を抑える機能です。



※グループ01～38設定時だけに有効な機能です。

※送信側で設定すると、有効になります。

※Dグループ01～83を設定時は、常にトーンバースト機能が有効です。

- oF：使用しない
- on：使用する

バックライト

(初期設定：At)

操作しない状態が約5秒つづくと、自動的に消灯します。

※[PTT]は押しても点灯しません。



- oF：常に消灯する
- At：操作しない状態が約5秒つづくと、自動的に消灯

5 別売品とその使いかた

■ 別売品についてのご注意

別売品は、本製品の性能を十分に発揮できるように設計されていますので、必ず弊社指定の別売品をお使いください。

弊社指定以外の別売品とのご使用が原因で生じる無線機の破損、故障あるいは動作や性能については、保証対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

■ 別売品一覧表

★:本製品に付属のものと同等品です。

バ ッ テ リ ー 関 係

BP-260 :充電式電池(ニッケル水素)

充 電 す る

BC-234 :2口充電器
※電源には、別売品のBC-217Sが必要です。

BC-217S :ACアダプター (BC-234用の電源)

腰 に 取 り 付 け る

MB-127★¹ :ベルトクリップ

イ ヤ ホ ン 関 係

SP-29L :耳かけ型イヤホン(黒色 φ3.5mm)
※ケーブル長:約97cm

中 継 装 置

IC-RP4100 :中継装置(中継01CH～27CH)

マイクロホン/ヘッドセット関係

WED-EPM-SLE :オリジナルイヤホンマイク(イヤーハンガー型)

WED-EPM-SLO :オリジナルイヤホンマイク(オープンエア型)

HM-186L :小型スピーカーマイクロホン

HM-177L :小型イヤホンマイクロホン

HM-179L :イヤホンマイクロホン

HS-85 :VOX機能付きヘッドセット

HS-94 :イヤーフック型ヘッドセット

HS-95 :ネックアーム型ヘッドセット

HS-97 :咽喉マイクロホン

HS-99 :耳かけ型イヤホンマイクロホン

VS-2L :VOXユニット

※HS-94、HS-95、HS-97、またはHS-99と組み合わせて使用

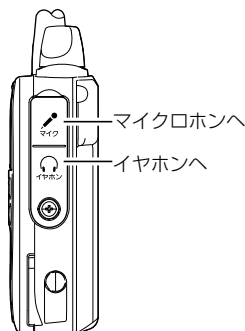
■ 別売品を接続するには

ご注意

必ず本製品の電源を切ってから接続してください。

マイクロホンまたはイヤホンは、右図のように本体右側のマイク端子またはイヤホン端子に接続します。

スピーカーマイクロホンを接続すると、本体のスピーカーは、動作しなくなります。

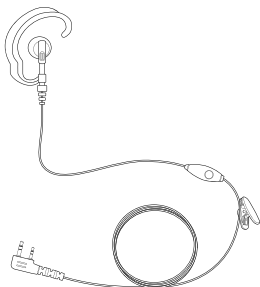


マイクジャック : $\phi 2.5\text{mm}$

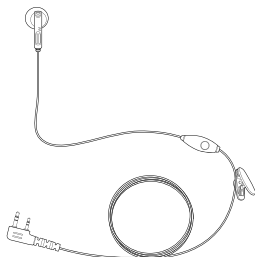
イヤホンジャック : $\phi 3.5\text{mm}$

5 別売品とその使いかた

■ WED-EPM-SLE オリジナルイヤホンマイク (イヤーハンガー型)



■ WED-EPM-SLO オリジナルイヤホンマイク (オープンエア型)

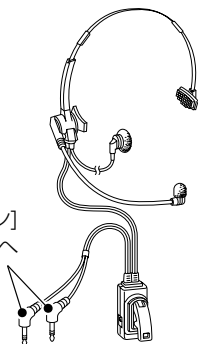


※WED-EPM-SLE、WED-EPM-SLOともにVOX機能は使用できません。

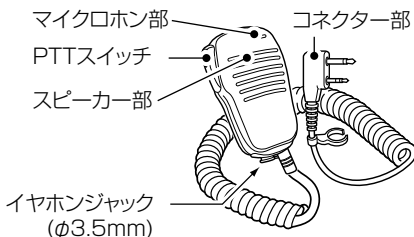
■ HS-85(VOX機能付きヘッドセット)

※HS-85は、VOX機能が内蔵されておりますので、無線機本体のVOX機能の設定を「oF」にしてください。(P.17)

[マイク/イヤホン]
ジャックへ



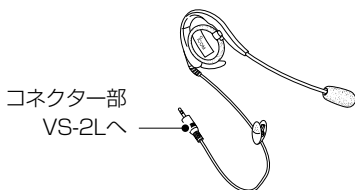
■ HM-186L(小型スピーカーマイクロホン)



■ HS-94(イヤーフック型ヘッドセット)

VS-2Lが必要です。

※VOX機能の設定を「oF」にしてください。(P.17)

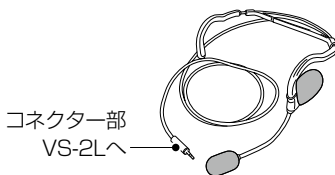


5

■ HS-95(ネックアーム型ヘッドセット)

VS-2Lが必要です。

※VOX機能の設定を「oF」にしてください。(P.17)



5 別売品とその使いかた

■ HS-97(咽喉マイクロホン)

VS-2Lが必要です。

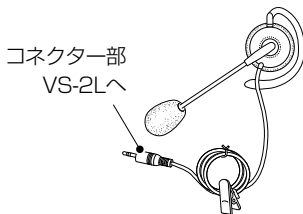
※VOX機能の設定を「oF」にしてください。(P.17)



■ HS-99(耳かけ式イヤホンマイク)

VS-2Lが必要です。

※VOX機能の設定を「oF」にしてください。(P.17)



■ 中継装置について

工場やビルの中などで、障害物によって電波が直接届かない場所では、中継装置を設置することで、本製品同士が通話できます。

通話のしかたは、3ページ～5ページの説明と同じです。

※中継装置を使用して通話するときは、中継装置1台だけです。

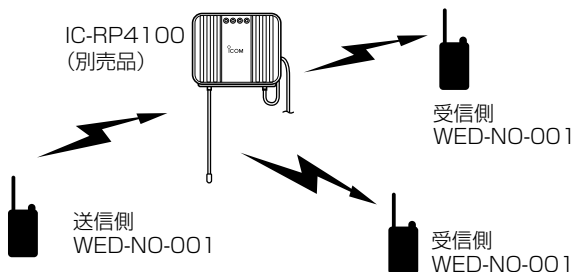
2台以上の中継装置を経由して通信距離を伸ばすことはできません。

※中継装置の設定は、中継チャンネル以外の項目を出荷時の状態にしてご使用ください。

中継装置に付属する取扱説明書を参考に設定してください。

IC-RP4100 : 中継01CH～中継27CHの通話チャンネルで使用できます。

中継システム構成図



■ 充電器をご使用になる前に

【正しい充電のために】

**充電するときは、必ず本製品の電源を切ってください。
電源を切らないと、充電が完了しない場合があります。**

- ◎BP-260(充電式電池)、およびBC-234(充電器)は、充電式電池の取扱説明書と、本製品の「Wedge Talkie 使ってみましょう」(別紙)の「安全上のご注意」を事前に必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ◎BP-260は本製品に挿入して、弊社指定の充電器(BC-234)で充電してください。
※BP-260以外の電池をBC-234で充電しないでください。
- ◎BP-260、BC-234を本製品以外の目的に使用しないでください。

【充電時期について】

- ◎お買い上げいただいたときや、2ヵ月以上使用しなかったときは必ず充電してください。
- ◎BP-260を満充電した直後に再充電しないでください。
電池の性能や寿命を低下させることがあります。
- ◎充電時、ランプが点灯しない場合は使用を中止し、お買い上げの販売店、または弊社保守サポートセンターにお問い合わせください。

【交換時期について】

指定時間充電しても、数分後に表示部の残量表示が変化する(使用時間が極端に短い)ときは交換時期です。

【温度・保管について】

◎極端に高温、または低温の環境下や、BP-260(充電式電池)とBC-234(充電器)の温度差が大きい場合、充電できないことがあります。

5℃～40℃の環境で充電してください。

◎満充電、または完全に使い切った状態で長期間放置すると、BP-260の寿命が短くなるおそれがあります。

◎無線機を長時間使用しないときは、電池を取りはずし、
-20℃～+30℃の湿気の少ない場所に、電池を保管してください。

BP-260を保管する場合は、電極が通電するものに直接触れないように、ビニール袋などに個別に入れて保管してください。(詳しくはBP-260に付属の取扱説明書をご覧ください)

◎充電口や充電端子各部にゴミやホコリが付着すると、正常に充電できないことがあるので、定期的にお手入れしてください。

5

【充電器のランプと充電時間について】

名称	BC-234
充電器の種類	2口充電器
充電中	青色にランプ点灯
充電完了	消灯
異常発生時	青色にランプ点滅
充電時間	約8時間40分★

★BP-260の状態により異なります。

5 別売品とその使いかた

■ 充電のしかた

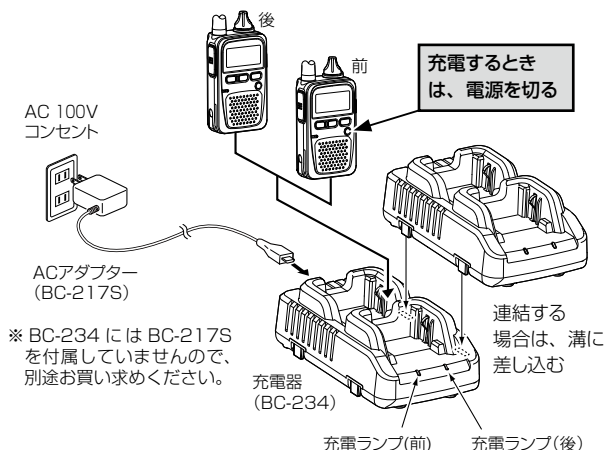
ご注意

- ◎ 必ず本製品の電源を切って充電してください。
- ◎ 充電しないときや充電完了後は、安全のためACアダプターをACコンセントから抜いてください。

※最大5台まで連結できますが、連結ごとに別途ACアダプターが必要になります。

※充電中に充電器から無線機をはずしたときは、5秒以上あけてから挿入しないと充電エラーとなります。

1. 下図のように側面2か所で連結します。
2. ACアダプター(BC-217S)のUSBコネクターを、充電器に接続したあと、コンセントに差し込みます。
3. BP-260を本製品に挿入して充電器に差し込みます。



※ BC-234 には BC-217S を付属していませんので、別途お買い求めください。

△危険

別売品のニッケル水素電池(BP-260)以外は充電しないでください。
液漏れ、発熱、破裂、けがのおそれがあります。

■ 充電式電池の特性と寿命について

- ◎ 充電式電池は、消耗品です。
充電できる回数は、300回～500回が目安です。
- ◎ 使用せずに保管しているだけでも、劣化が進行します。
- ◎ 劣化がはじまると、満充電しても運用時間が短くなります。
- ◎ 満充電しても、運用時間が極端に短くなったときは寿命です。
無線機の性能を十分活用するためにも3年を目処に交換されることをおすすめします。

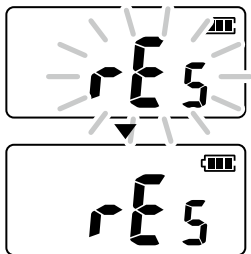
6 ご参考に

■ 初期化(リセット)操作について

静電気などによる外部要因で本体の表示や動作がおかしくなったときは、リセットをしてください。

1. 電源を切った状態で、[▼]と[グループ/■○]を押しながら電源を入れる
 - 「ピッ」と鳴り、「rEs」が点滅します。
2. [PTT]を押す
 - 「ピピッ」と鳴り、「rEs」が点灯に変わり、CHO1が表示されると、リセットが完了します。

※ロック(「■○」が点灯)中は、リセットできません。
ロック機能を解除してからリセットしてください。



■ 日常の保守と点検について

- ◎ 清掃するときは、洗剤や有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）を絶対に使用しないでください。
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。
- ◎ 無線機本体、電池端子、充電器の充電端子（充電端子、および電源ジャック）にゴミやホコリが付着すると、電源が入らないことや正常に充電できないことがありますので、定期的にお手入れしてください。
※お手入れの際は、乾いたやわらかい布をお使いください。
※ACアダプターをコンセントから取りはずして、お手入れしてください。
- ◎ 使用される前に、電池の容量が十分残っているか、表示部の残量表示を確認してください。
また、無線機本体に電池が正しく装着されていることを確認してください。
- ◎ 定期的に決まった位置の相手局と通話して、通話状態に変化がないかを調べてください。

6 ご参考に

■ 故障かな？と思ったら

下記のような現象は故障ではありませんので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

現 象	原 因	処 置	参照
電源が入らない	電池極性の間違い	極性を確認して入れなおす	別紙
	接触不良	本製品の接触端子を清掃する	—
	電池の消耗	アルカリ乾電池を交換するか、BP-260を充電する	別紙
通話チャンネル、またはグループ番号が切り替わらない	ロック機能が動作している	ロック機能を解除する	P.8
通話できない	相手との距離がはなれすぎている	場所を移動してから通話してみる	—
	相手が不在、または電源を切っている	相手の無線機の状態を確認する	—
送信できない （「ブッブ」 ^① と鳴る）	3分間の時間制限を過ぎている	2秒～3秒後、もう一度送信する	P.5
	同じチャンネルの電波を受信している	受信表示「  」が点灯中は、送信できないため、受信表示「  」が消えたことを確認して送信するか、通話チャンネル番号を変更してから送信する	P.6
呼び出しても応答がない	相手と通話チャンネル、またはグループ番号が一致していない	設定をあわせる ※設定が合っていれば、相手が不在か電源を切っている	P.3
VOX機能による送信ができない	VOX感度が低い値になっている	VOX感度を最適値に設定する	P.17
	マイク感度が、低い値になっている	マイク感度を最適値に設定する	P.15
中継表示が消えて中継装置が使えなくなった（半複信）	中継チャンネル以外のチャンネルを設定している	中継チャンネルを設定する	P.3

■ アフターサービスについて

「故障かな?と思ったら」(P.33)にしたがって、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理することにより、機能を維持できる製品については、ご希望により、有償で修理させていただきます。

●保証書について

保証書は、販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

●弊社製品のお問い合わせ先について

お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

ウェッジ株式会社 保守サポートセンター
フリーダイヤル 0120-248-144

受付 (平日 9:00~18:00)

電子メール: wedge-hoshu-s@aaa-wedge.co.jp

ウェッジホームページ: <https://www.aaa-wedge.co.jp/>

6 ご参考に

■ 従来製品との相互使用について

従来製品と相互に使用するときは、下表をご覧ください。

※秘話機能(P.14)は、IC-4350、IC-4350L、IC-4500、IC-4077S、IC-4810、IC-4188D、IC-MS5010と互換性があります。

※本製品には個別呼び出し機能がありません。

IC-4350、IC-4350L、IC-4500、IC-4077S、IC-4810、IC-MS5010が個別呼び出し機能をONに設定している場合は、OFFに変更すると相互使用できます。

■ 通話可能範囲

機種名	通話チャンネル			通話チャンネル(中継用)		
	1	11	20	中継 1	中継 18	中継 27
IC-4600						
IC-4300						
IC-4300L						
IC-4350						
IC-4350L						
IC-4077S						
IC-4500						
IC-4810						
IC-RP4100						
IC-MS5010						
IC-4188D						
IC-4110						
IC-4110D						

■ 無線機本体

(単信)

送信/受信周波数範囲 422.0500～422.1750MHz
422.2000～422.3000MHz

(半複信)

送信周波数範囲 440.0250～440.2375MHz
440.2625～440.3625MHz

受信周波数範囲 421.5750～421.7875MHz
421.8125～421.9125MHz

チャンネル数 単信20チャンネル/半複信27チャンネル
電波型式 F3E

変調方式 周波数変調

使用温度範囲 -10～+50℃

電源電圧 DC1.5V/単3形アルカリ乾電池/BP-260
消費電流 700mA以下

(内蔵SP 8Ω AF最大時/バックライトOFF)

送信出力 10mW(+20%/-50%)

低周波出力 100mW以上

(負荷インピーダンス8Ωにて10%歪時)

アンテナインピーダンス 50Ω

受信方式 ダイレクトコンバージョン方式

受信感度 -13dBμV(PD)以下 (12dB SINAD)

外形寸法 46.5(W)×80.0(H)×19.9(D)mm

(突起物を除く)

重量 約86g(付属品を除く)

■ 2口充電器(BC-234)

定格入力電圧 5V ±0.25V DC

使用温度範囲 5～40℃

重量 約181g

寸法 88(W)×53.5(H)×154.5(D)mm

(突起物を除く)

※定格・仕様・外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

